

# 東京五輪事前キャンプ地誘致活動について

## 1 ホストタウンについて

### (1) ホストタウン構想

内閣官房が進めるホストタウン構想とは、東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とし、地方公共団体が「ホストタウン」となり、大会参加国と地域との間での人的・経済的・文化的な相互交流を図ることで、スポーツ立国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等を図ることを目的としている。

### (2) 登録状況

#### 【ハンガリー国】

##### (経緯)

1964年、東京オリンピック大会時にハンガリーレスリングチームの競技補助員を務めた山本本県教諭とハンガリー代表選手コズマ選手とが親交を深め交流が始まった。

1978年から「群馬県柔道連盟、ハンガリー柔道連盟」との国際交流試合が行われている。

2012年「群馬県、前橋市、ブタペスト柔道連盟国際交流大会」が開催され、2020年東京オリンピックの開催を契機に本市一丸となり取り組んで行くことを決定し平成28年1月26日に登録となった。

#### 【スリランカ民主社会主義共和国】

##### (経緯)

1990年代にスリランカ国に「前橋幼稚園」を建設、平成27年5月には「はしご付消防自動車」を贈呈した。

平成27年8月、前橋市に名誉領事館が開設されたことなどを踏まえ、2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機に継続的な相互交流を進めていきたいことから、スリランカ国スポーツ大臣に打診したところ、選手のキャンプ地の提供などの依頼があったことから、ホストタウン登録の申請を行い平成30年2月28日付で登録となった。

### (3) その他

アメリカ合衆国・アラバマ州の登録については保留中である。

## 2 2020東京オリンピック事前キャンプ地誘致活動

### (1) 誘致強化種目

スポーツメッカづくり事業や国際交流事業等により競技団体や関係者との人脈があり、施設面の整備も進んでいること及び現在の進捗状況を鑑み、誘致推進に有利であると考えられる4競技（柔道、レスリング、自転車、トランポリン）を中心に誘致に取り組んでいる。

### (2) 進捗状況

#### ①柔道＝ハンガリー国「ハンガリー柔道連盟」

平成29年3月 ハンガリー柔道連盟役員招聘し、事前キャンプ地に向けて交流を深める合意書を締結した。

平成29年5月 ジュニア女子強化合宿受け入れ

8月 世界柔道選手権ハンガリー国ブダペスト大会に訪問し親交を深めた。

12月 会長を含めた役員を招聘し本市をキャンプ地としての親書を受け取る。  
平成30年度 選手の強化合宿などを含めた交流を深めていく。

②レスリング＝ハンガリー国 「ハンガリーレスリング連盟」

平成29年9月 ハンガリー国レスリング連盟へ訪問し本市への事前キャンプ地の実施要請をした。

11月 ハンガリー国レスリング連盟役員・選手を招聘し、基本合意書を締結した。

平成30年度 選手の強化合宿などを含めた交流を深めていく。

③トランポリン＝ベラルーシ共和国 「ベラルーシ共和国体操協会（トランポリン競技）」

平成29年8月 トランポリンワールドカップ・ベラルーシ共和国ミンスク大会に訪問し、ベラルーシ共和国体操協会（トランポリン競技）に訪問し、本市での事前キャンプ実施（役員招聘）を打診した。  
また、ワールドカップ開催に併せて大会に参加する各国にも事前強化合宿を打診している。

平成30年8月 8月4日・5日にヤマト市民体育館で開催の「2018FIG トランポリンワールドカップ日本国・前橋大会」開催

④自転車（トラック競技）＝ヨーロッパ諸国及びニュージーランド

平成29年4月 「2017TRACK CYCLING WORLD CHAMPIONSHIPS（香港）に訪問し、42の国と地域のうち16ヶ国を選定しチーム責任者へ誘致活動を行った。

平成30年2月 フランス・スイス・ベルギー自転車競技連盟訪問し、グリーンドーム前橋を中心に本市のPRプレゼンテーションを行った。

平成30年度 ヨーロッパ諸国及びニュージーランドへの的を絞り誘致活動を継続していく。